

平成27年度「みんなの審査会」対象事業の市の方向性
(平成30年2月時点)

事業番号	3-(2)	事業名	堺市展開催事業			
所管	文化観光		局	文化	部	文化課
1. 市の方向性						
事業の方向性	拡充			○		【市の方向性(区分)】 <input type="checkbox"/> 強化・拡充 <input type="checkbox"/> 廃止予定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善済(一定の見直しがされた事業) <input type="checkbox"/> 検討中(平成30年度以降に見直しを進める事業)
	現状維持					
	縮小					
	廃止					
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
公金投入の方向性(人件費含む)						
2. 審査結果を踏まえた市としての取組方針						
<p>○審査結果にばらつきはあったが、「廃止・ゼロ」の回答についても事業自体を否定するものではなく、根本的な見直しが必要であるとの意見であった。</p> <p>○歴史・伝統のある事業ということもあり、事業の重要性については委員の方々にも十分認識していただいたが、「堺市展」の認知度が低いこと、また若手の出展者が少ないなどの問題点が浮き彫りとなった。</p> <p>○以上の審査結果を踏まえ、当事業は現状維持としつつも、「文化芸術創造のまち堺」の伝統ある公募展として、より多くの市民に鑑賞してもらえるよう認知度の向上に努めるとともに、時代のニーズに対応した公募展へと進化させるため、部門のあり方などについても検討する。</p>						
3. これまでの検討状況						
<p>【認知度向上】</p> <p>認知度向上を目的に、(公財)堺市文化振興財団の SNS ツール「あつと・さかい Facebook ページ」にて展覧会の様子を毎週に発信するなどして、堺市展を知らない若手への周知を図った。</p> <p>会期中の来場者数の増加に繋げるために、会場である堺市立文化館と相互協力し、同館内にある堺アルフォンス・ミュシャ館入館者へ堺市展の告知チラシを配布、堺市展入場者へは堺アルフォンス・ミュシャ館の企画展のチラシを配布することとした。</p> <p>展覧会の魅力を高めるための取組みとして、一部の審査員のみとしていた審査員の作品展示を、全審査員に依頼することとした。</p> <p>上記の取組みの結果、平成 29 年度の入場者数は 3 期合わせて 5,055 人(平成 28 年度:3529 人)となり、約4割増加した。</p> <p>【若手出展者】</p> <p>平成 29 年度の 10 代・20 代の若手出品者数は、平成 26 年度対比で7割増加しており、昨年より実施した市内高等学校を通じた学生への開催案内の送付も効果として出てきている。今後も取組みを継続するとともに、新たな若手出展者増加に繋がる仕掛けを検討する。</p> <p>【部門のあり方】</p> <p>外部有識者へヒアリングを行うなどの点検を行った結果、現状維持となったが、今後も時代のニーズに対応できるよう、情報収集に努める。</p>						
4. 平成30年度における見直しの内容						
<p>これまでの取組みの結果、堺市展の認知度の向上及び若手の出展者の増加について、一定の成果が見られた。今後はさらなる認知度向上を図るため、協賛企業の獲得などを視野に入れた取組みを進めるとともに、若手出展者の増加に繋がる取組み、部門のあり方についての点検・情報収集を継続して実施する。</p> <p>なお、堺市展開催負担金については、最低賃金の上昇を鑑み、従事スタッフの人件費上昇が見込まれることから微増である。</p>						
5. 平成30年度予算への反映状況						
		平成29年度当初予算	平成30年度当初予算	増減額		
事業費		6,437 千円	6,516 千円	79 千円		

平成27年度「みんなの審査会」対象事業の市の方向性
(平成30年2月時点)

6. 今後の取組予定	
平成30年度	現在実施している認知度向上と若手出展者の増加に繋がる取り組みと、部門のあり方についての点検・情報収集を継続して実施する。 協賛企業の獲得などを視野に入れた更なる取り組みや仕掛け等の拡充策について、具体的な手法の検討を進める。
平成31年度以降	点検・情報収集の継続実施。 拡充策の実施。